

龍踊復活プロジェクトが長崎新聞に掲載されました。

佐世保・県北

佐世保支社 (0956・22・9145) 松浦・江迎 (080・4122・2729) 平戸 (080・4

世知原中の生徒ら 竜踊り復活へ

くんちであす披露 練習励む



世知原くんちの竜踊り奉納に向けて練習に励む生徒
佐世保市、世知原中

地元で親しまれていた竜踊りを復活させようと佐世保市世知原町の市立世知原中(市田恒明校長、49人)の1、3年生31人が、町内の山口神社で29日に開かれる「世知原くんち」での奉納に向け、練習に励んでいる。

竜踊りは同町に伝わる竜伝説を基に、地元住民らでつくる竜踊り保存会が約50年前に奉納を始めた。高齢化と後継者不足で、2年前の奉納を最後に同保存会は解散した。同校は総合学習の一環で、地元

に相談したところ「子どもたちが継承してくれるなら」と、同校に竜を寄贈した。生徒らは週2回、長崎女子高(長

崎市) 龍踊部の演技を参考に動画を見ながら動きを確認。約1時間の練習時間で、玉使いの動きや胴くぐり、玉探し(すぐら)の動きを繰り返し何度も練習。市田校長は「どうなるか不安だったが、形はできた。生徒の覚えの早さに驚いた」と仕上がり満足げ。

重さ約7kgある竜頭 担当
は「とても重く

体力を使う。地元の芸能を後輩たちにも引き継いでもらいたい」と笑顔。玉使い 担当

は「本書では迫力のある踊りを披露したい」と話した。

くんち当日は、神社周辺や境内で同校2年生が企画したエコバッグ、キーホルダーなどの販売や郷土芸能の北川内浮立の披露などもある。
(林田友広)